

令和7年4月 年度当初資料
多摩市立北諏訪小学校
校長 板澤 康矩

令和7年度 学校経営計画

「児童の命を守る安全・安心な学校」を第一に活動する。

その上で、児童の健全な成長を目指した柔軟な対応を図り、「学校は楽しい」を共通の目的とし、コロナ禍の3年間で失われたもの（児童に関すること、教職員に関することの両方）をうめていくことを意識し、職員の創意と総力で学校を創り上げる一年とする。

【教育目標】

考える子ども・思いやる子ども・きたえる子ども

<家庭・地域とともに子どもを育てます>

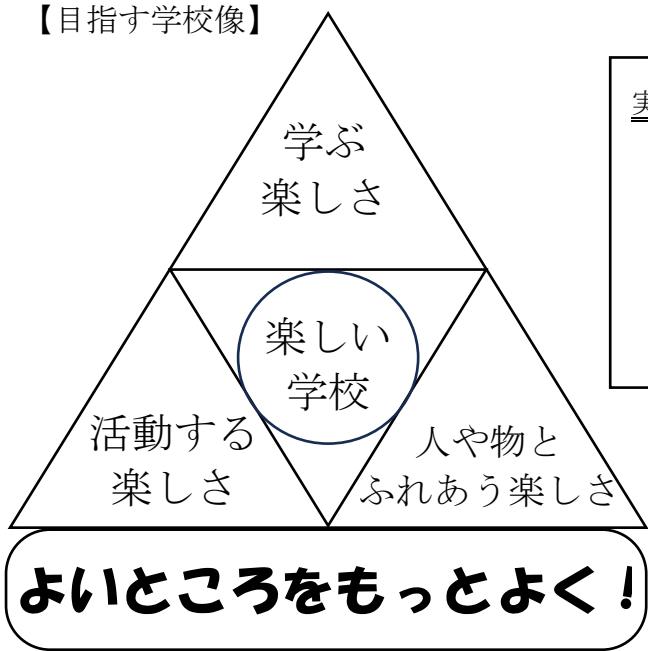
考える子どもを育てます

思いやる子どもを育てます

きたえる子どもを育てます

<北諏訪小学校の子をこのように育てます>

【目指す学校像】



実現に向けた5つの視点

- | | |
|-------------|------------|
| 1 考える子ども | ◎学力向上 |
| 2 思いやる子ども | ◎人にやさしく |
| 3 きたえる子ども | ◎体力向上・安全教育 |
| 4 いじめ・不登校対策 | ◎生活指導の充実 |
| 5 家庭・地域との連携 | ◎開かれた学校 |

誰しも長所・短所はありますが、長所を伸ばすことで、児童自身が達成感等を得ることを通して「楽しい」「明日も学校に行きたい」と感じる・思える学校にします。短所（課題等）を無視するという意味ではありません。

実現に向けた5つの視点と各重点

- 1 学力向上：分かる楽しさ・できる楽しさ・伝える喜びを中心に
 - 指導力の向上…校内研究の充実・実践、指導法の工夫改善、ＩＣＴの活用
 - 基礎・基本の定着…東京ベーシックドリル、音読・計算、地域未来塾、辞書活用
 - ＳＤＧｓの取組…ＥＳＤ推進（ＥＳＤカレンダー）、体験的学習、問題解決型学習
 - ※個別最適な学びの実現
- 2 人に優しく：児童の人権意識の醸成 校訓的に
 - 心の教育の充実…特別活動の充実、読書指導、ふれあい月間の活用、
たてわり班活動
 - 特別支援教育の充実…きこえことばの教室、つばさ教室との連携、ＵＤの実践
 - いじめ防止…いじめ対策委員会、学校いじめ防止基本方針の実践、
家庭・地域との連携
 - ※服務事故防止研修→教師の人権意識の高揚
- 3 体力向上・安全教育：意図的・計画的な運動習慣・自分で自分を守る安全教育
 - 健康・体力の増進…体育指導計画の改善、運動の日常化、スポーツテストの活用
 - 食育教育の充実…食品ロス、生活習慣病予防、給食指導
 - 安全指導の改善…現実的な避難訓練、交通安全指導の徹底、防災教育の実践
 - ※安全環境の点検、整備・教育計画の見直し（安全指導・体育科）
- 4 生活指導の充実：児童目線と毅然とした指導のバランス
 - 問題行動・いじめへの対応…迅速・丁寧・性格・情報共有
 - 不登校児童への対応…不登校総合対策の実践・現状の改善・関係機関との連携
 - 基本的生活習慣の確立…「返事・あいさつ・後始末」、規範意識
 - ※教育計画の見直し・改善→現実的な対応・具体的な取り組み
- 5 地域との連携：歴史と伝統、地域の学校の役割
 - 地域行事・地域活動への協力…地域・青少協との連携、協同
 - 開かれた学校…情報の発信、学校公開、地域防災
 - コミュニティースクールの展開…学校からの情報発信・収集、情報共有、
地域学校協働本部
 - ※学校・家庭・地域の連携の充実

創立50周年の年（記念式典関連の取組）

- 創立50周年を児童が意識するとともに、お祝いの気持ちを醸成する1年に
→特別活動を中心として、教育活動との関連性を深める
- 保護者・地域の思いや願いも受け止めた内容に